

(令和6年4月17日発表)

駿河の戦国大名であった今川義元の実像に迫る！

企画展「今川義元～偉大なる駿河の太守～」4/27 開幕！

◆ アピールポイント	<p>◎約 230 年に渡り駿河国を支配した今川氏。その全盛期を築いたのが、戦国大名今川義元です。その義元にまつわるストーリーを「天・地・人」3つの章でそれぞれ紹介します。</p> <p>◎後世に「海道一の弓取り」と称される義元がどのような戦国大名であったのか。その領土拡大の戦略や、今川館を中心に築いた強力な今川領国、義元を支えた家臣たちに注目した内容です。</p>
◆ 会 期	<p>令和6年4月27日（土）～6月9日（日）</p> <p>◎概要は、添付の企画書、および告知チラシをご参照ください。</p>
◆ 場 所	<p>静岡市歴史博物館 3階 企画展示室 (静岡市葵区追手町4番16号)</p>
◆ 内容など	<p>◎今川義元は名門今川氏の子として生まれましたが、戦国大名として盤石の地位を築くまでには多くの苦労と困難がありました。それを乗り越え、運命の桶狭間合戦に向かっていくまでを紹介します。</p> <p>◎近年の発掘調査によって、今川氏本拠である今川館に関する研究が進みました。そこで見つかった遺物を紹介しながら、義元が手掛けていった今川文化の繁栄や義元の経済流通政策について語ります。</p> <p>◎義元の事業を支えた家臣たちにまつわる資料を展示し、義元のプレーンであった雪斎、重臣朝比奈、岡部、更には、普段は村に住みながら今川氏に仕える家臣（侍衆）に至るまで、今川家臣団の姿を紹介します。</p>
◆ その他	<p>◎本企画展の報道各社向け内覧会を、<u>令和6年4月26日（金）13：30 から開催します。（15時頃までの予定）</u></p> <p>参加を希望される社は、前日25日（木）14時までに、当館広報担当へお知らせください。</p>

別紙資料 **有**・無
ぜひ取材をお願いします

【問合せ】 静岡市歴史博物館
広報担当：前田、宮崎、谷口、唐木
電話 054-204-1005

企画展「今川義元～偉大なる駿河の太守～」企画書

【企画趣旨】

戦国大名今川義元は、ここ静岡を基盤にその勢力を拡大し、全国でも屈指の戦国大名に成長するとともに、今川氏の全盛期を確立しました。そこには、今川仮名目録追加、三河支配の確立、甲相駿三国同盟といった、義元が手掛けた政策や事業の成果であることは有名ですが、その根底には義元が時の運を得、地の利を活かし、人の支えがありました。本展示では、様々な史料を紹介しながら、義元が静岡の地で得た「天・地・人」を紐解き、その功績をより濃密な内容で紹介します。

<視点とポイント>

- ・今川義元は駿河にとってどのような戦国大名であったのか (プロローグ)
- ・義元の、実は順風満帆ではなかった、実は波乱の生涯を解く (天)
- ・今川氏の本拠駿府と駿河の繁栄、今川氏の生活と文化を紹介 (地)
- ・義元を支えた有能な家臣たち、その知られざる姿を紹介 (人)

【開催概要】

会 期：令和6(2024)年4月27日(土)～6月9日(日)(39日間)

(休館日：月曜日 ※国民の祝日・休日にあたるときは開館、翌平日休館)

※4月30日(火)は臨時開館します。

会 場：静岡市歴史博物館 3階 企画展示室

開場時間：9:00～18:00(展示室への入場は閉館30分前まで)

※4月27日(土)、5月25日(土)は開館延長(～19:00)

観覧料：一般 1,000円(800円)

高校生・大学生・静岡市内在住70歳以上 700円(550円)

小中学生 250円(200円)

静岡市内在住・通学の小中学生、未就学児 無料

※基本展示もあわせでご覧いただけます。※カッコ内は20人以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方と介助者1人は無料。

【見どころ】

関連する展示物

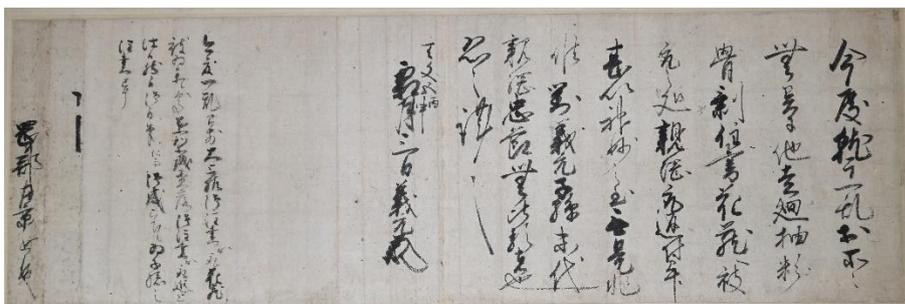
- ① 岡部家文書 今川義元感状(藤枝市郷土博物館・文学館所蔵 藤枝市指定文化財)
- ② 桶狭間役今川織田両軍戦闘経過要図(臨濟寺所蔵)
- ③ 金箔かわらけ(静岡市埋蔵文化財センター所蔵)
- ④ 策彦周良寄進 香炉卓(臨濟寺所蔵)

- ⑤ 朝比奈信置所用 薙刀（写）（一乗寺所蔵 静岡市指定文化財）
- ⑥ 雪斎所用 鐙（臨濟寺所蔵）

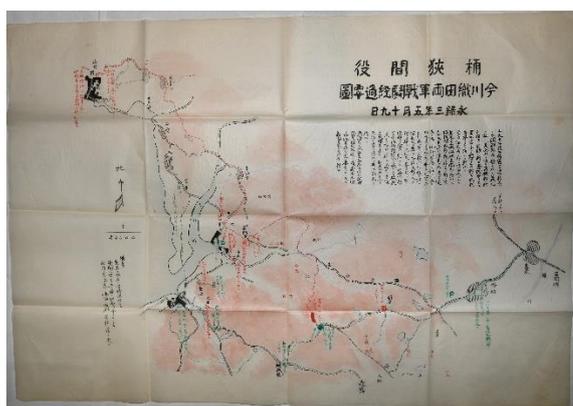
天の章 義元の戦略、運命の桶狭間血戦

激しい家督争いの末、今川家当主となった義元は、北条氏と対立し争いました。一時は領国を失陥するなど、人生最大の危機を迎えます。しかし、しぶとく領国経営を続け、最終的には領地の奪還に成功しました。その後、義元は北条氏康、武田信玄との攻守同盟「甲相駿三国同盟」を成立させ、領国の安定化に成功します。

一方、西方では、三河支配を巡って尾張の織田家と主導権を争いました。この争いを優位に進めた義元は、その勢力を尾張にまで広げ、今川領国は最大になります。これに危機感を持った織田信長は、これを取り返そうとし、尾張の今川軍は織田軍に囲まれることとなったのです。そして、永禄3（1560）年、この状況打破のため義元は自ら出陣しました。こうして、運命の桶狭間の戦いの舞台が整ったのです。



◀岡部家文書 今川義元感状（藤枝市郷土博物館・文学館所蔵）▶



◀桶狭間役今川織田両軍戦闘経過要図（臨濟寺所蔵）▶

地の章 太守様はここに！今川館と強国駿河国

今川氏は、室町幕府成立期から駿河守護をつとめる名門であり、本拠地として腰を据えたのが今川館です。近年の発掘調査によりその調査では、今川時代のものと思われる遺物が多く見つかりました。上級武家でなければ入手できない品もあり、今川家の強さと豊かさを示

す貴重な資料です。

義元の領国経営によって領国内は豊かになっていきます。さらに、京都とつながりがある今川氏には、多くの公家や名僧が往来し、領国内の文化水準はとても高いものでした。強力な今川領国を支配し、そのトップに君臨する義元を、京の公家である山科言継は「太守」と称します。「太守」とは国主のこと。実力主義といわれる戦国大名の中でも、義元は権威と実力を兼ね揃えるオフィシャルな戦国大名だったのです。



《金箔かわらけ（静岡市埋蔵文化財センター所蔵）》



《策彦周良寄進 香炉卓（臨濟寺所蔵）》

人の章 精鋭気鋭、今川家臣団

義元の領国支配の功績は数多くありますが、そこには優秀な家臣たちの支えがありました。今川家臣は関口、瀬名といった一門衆をはじめ、朝比奈、岡部といった重臣が名を連ね、安定的な家臣団が確立していました。

さらに義元のブレーンとして活躍したのが、太原崇孚（雪斎）でした。雪斎は僧侶であり「家臣」ではありませんが、義元の治政には不可欠な存在でした。雪斎は自ら政治、軍事面において活躍し、一方で臨濟寺の住職として京都とのコネクションも持つなど、あらゆる面で義元を支えました。

また、名高い家臣のみならず、駿河の国を治めるには、ふだんは村に住みながら今川氏に仕える家臣（侍衆）も縁の下の方持ちとして活躍しました。義元は、隅々まで統制し、いざという時に彼らが集まることで今川軍が形成され、今川氏は屈指の戦国大名として君臨したのです。



《朝比奈信置所用 薙刀（写）（一乗寺所蔵 静岡市指定文化財）》



《雪斎所用 鐙（臨濟寺所蔵）》

企画展関連イベントスケジュール

※詳しくは添付のチラシをご参照ください。

1. 歴史トークショー「今川氏と静岡」
 2. 日時：2024年5月3日（金祝）13：00～16：00
会場：静岡市民文化会館 中ホール
定員：800人（参加無料）
講師：小和田哲男さん（静岡市歴史博物館名誉顧問・静岡大学名誉教授）
春風亭昇太さん（静岡市歴史博物館名誉顧問兼静岡市観光親善大使）
申込：博物館 HP 申込フォームまたは電話にて申込み（申込順）
2. 関連トークイベント（静岡市歴史博物館内） ※申込不要、無料
 - ① 4月27日（土） 13：00～14：00 今川義元の時代
 - ② 4月29日（月祝） 13：30～15：00 戦国大名今川氏の礎 氏親
 - ③ 5月5日（日祝） 10：45～11：15 今川義元ってどんな人？ ※子ども向け
 - ④ 5月5日（日祝） 11：30～12：00 義元と信長、家康 ※子ども向け

- ⑤ 5月6日(月休) 13:30~14:00 今川館と都市駿府
(講師:静岡県文化財課 河合修さん)
- ⑥ 5月18日(土) 13:30~15:00 今川義元の尾張侵攻
(講師:静岡市文化財保護審議会委員 大石泰史さん)
- ⑦ 5月19日(日) 11:00~11:45 今川氏輝の治政
- ⑧ 6月9日(日) 13:30~14:00 今川家臣の再就職

3. 学芸員ガイドツアー「今川館を探る!今川ガイドツアー」

本企画展で紹介する今川館に関わる駿府城公園内及びその周辺を巡るツアー。
駿府城発掘現場調査員による解説と共に今川館のあった場所を考察します。

日時:① 5月12日(日) 10:00~11:00

② 5月25日(土) 10:00~11:00

定員:各回30人(参加無料) ※どちらも同内容

申込:4月13日(土) 10:00~

静岡市歴史博物館へ電話(054-204-1005)

または来館して直接申込み(申込順)